



～すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざして～

2005年度『政策・制度要求と提言』を提出

2005年度『政策・制度要求と提言』策定までの経過！

あぷろうち139号でも報告しましたが、連合群馬は今年も「県民意識調査」を実施し、5,582名の県民から回答を集約しました。毎年実施している『心配事・困り事・関心事』の設問では、今年度の回答として「自分や家族の老後に関する問題」が、引き続き第1位となり、昨年を上回る回答率となりました。その要因としては、年金改定などもあって「将来の自分や家族の金銭的な不安」が最も多くなりました。

このように構成組織組合員をはじめ県民の皆さんにご協力いただいた回答をもとに、県民ニーズを集約し県や市町村へ提出する『政策・制度要求と提言』を策定しました。



要請書提出 小寺知事（左）と大川会長（右）

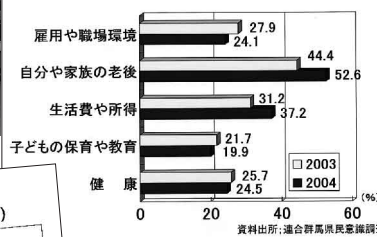
このような中で10月14日、連合群馬は小寺知事に対し2005年度の『政策・制度要求と提言』を提出しました。本年度の提言については特に重点とする3課題と、意識調査で県民のニーズとして高かった2課題に絞込み提出しました。

大川会長は「三位一体改革の中で、より効果的で効率的な政策が従来に増して求められている。様々な政策を検証しPDC Aをきちんと行った上で、投資対効果を意識した真に実効ある政策を展開していただきたい。」と挨拶しました。

続いて富澤副事務局長がパワーポイントを使って要求内容について説明を行いました。（提言内容：右記）



「心配事・困り事、関心事」 (2つ選択)



学校教育において優先すべきもの (2つ選択)



小寺知事からは「問題意識については全く同じであり、真の意味で政治に民衆が参加するシステムは大事である。県政の機構改革については移行の段階であり、過渡期であると思う。新しい政治とより良い社会を築いていきたいと考える。」とのコメントがありました。

2005年『政策・制度要求と提言』

【重点項目3課題】

- I 雇用・労働対策について
 1. 群馬県で実施してきた雇用対策事業についての効果の検証と公表
 2. 企業が求める求人ニーズの詳細な調査・分析と職業訓練への反映
- II. 福祉・社会保障政策について
 1. 次世代育成支援対策推進法にともなう全市町村の推進計画の把握と情報公開
 2. 特別養護老人ホームの待機者解消に向けた積極的な増床計画の推進および真の待機者数の実態把握と県民への公表
- III. 行政運営について
 1. 県庁機構改革にともなう効果の検証・行政評価と県民への情報公開

【県民意識調査で特にニーズの高かった2課題】

- I. 教育問題について
 1. 不登校児童・生徒“ゼロ”を目標に掲げた市町村の教育委員会と連携した積極的な対応
- II. 治安問題について
 1. 治安回復緊急プログラムの地域住民の協力を得た計画的な実効ある取り組み